

# スーパーマーケット販売統計調査資料

2014年6月実績 速報版(パネル285)

5月実績 確報版(パネル285)

(2014年7月22日公表)

## 調査資料概要

### 【パネル285】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象として同一285社を集計

※2014年4月実績よりパネル対象企業変更(306社→285社)

### 【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

### 【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

### 【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

## 【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

## 【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

2014年7月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2014年6月実績 速報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	80,933,046	100.0%	102.3%	100.4%
食品合計	71,028,256	87.8%	103.3%	101.2%
生鮮3部門合計	26,424,631	32.6%	106.7%	104.4%
青果	10,779,707	13.3%	105.7%	103.6%
水産	7,039,498	8.7%	104.0%	101.8%
畜産	8,605,425	10.6%	110.4%	107.8%
惣菜	7,445,793	9.2%	106.0%	103.0%
日配	15,700,905	19.4%	102.9%	100.9%
一般食品	21,456,927	26.5%	98.9%	97.1%
非食品	6,963,733	8.6%	94.3%	94.1%
その他	2,941,058	3.6%	96.0%	95.5%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,814,513	48	101.8%	98.8%
関東地方	28,936,384	73	104.5%	102.6%
中部地方	9,837,141	57	101.8%	100.2%
近畿地方	17,777,843	43	101.2%	99.1%
中国・四国地方	7,217,425	39	98.7%	98.3%
九州・沖縄地方	4,349,741	25	100.6%	100.0%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	795,012	52	98.1%	99.5%
4~10店舗	3,948,174	78	103.1%	102.1%
11~25店舗	10,957,701	72	101.0%	99.9%
26~50店舗	15,601,948	45	101.2%	99.3%
51店舗以上	49,630,211	38	102.9%	100.7%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	77,788,274	
総店舗数 (店舗)	7,326	店舗平均月商 (万円)	11,047	
総売場面積 (㎡)	11,599,908	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.0	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年7月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2014年5月実績 確報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	81,069,636	100.0%	102.7%	100.6%
食品合計	71,438,016	88.1%	103.6%	101.4%
生鮮3部門合計	26,937,550	33.2%	106.8%	104.3%
青果	10,964,320	13.5%	105.8%	103.5%
水産	7,235,994	8.9%	104.2%	101.8%
畜産	8,737,237	10.8%	110.3%	107.7%
惣菜	7,681,420	9.5%	106.5%	103.5%
日配	15,666,583	19.3%	103.6%	101.7%
一般食品	21,152,463	26.1%	98.8%	97.0%
非食品	6,526,206	8.1%	94.2%	93.4%
その他	3,105,414	3.8%	95.3%	94.7%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,937,254	48	102.0%	99.4%
関東地方	29,042,278	73	105.8%	103.3%
中部地方	9,880,582	57	101.7%	100.2%
近畿地方	17,514,027	43	100.6%	97.9%
中国・四国地方	7,322,329	39	99.6%	100.1%
九州・沖縄地方	4,373,166	25	101.1%	99.8%

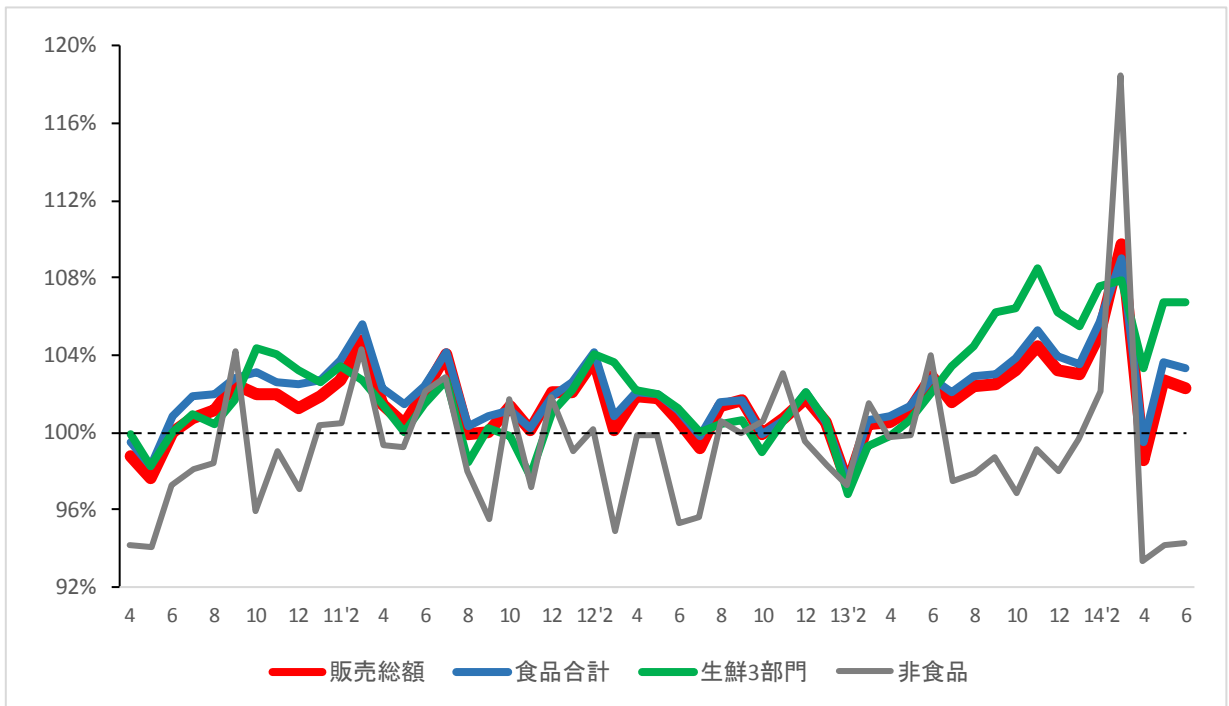
## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	821,677	52	98.6%	100.6%
4~10店舗	4,036,149	78	103.7%	102.8%
11~25店舗	11,024,487	72	101.1%	100.2%
26~50店舗	15,791,661	45	102.1%	100.6%
51店舗以上	49,395,662	38	103.2%	100.5%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	77,752,037	
総店舗数 (店舗)	7,312	店舗平均月商 (万円)	11,087	
総売場面積 (㎡)	11,984,173	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8	

※売上高は税抜金額

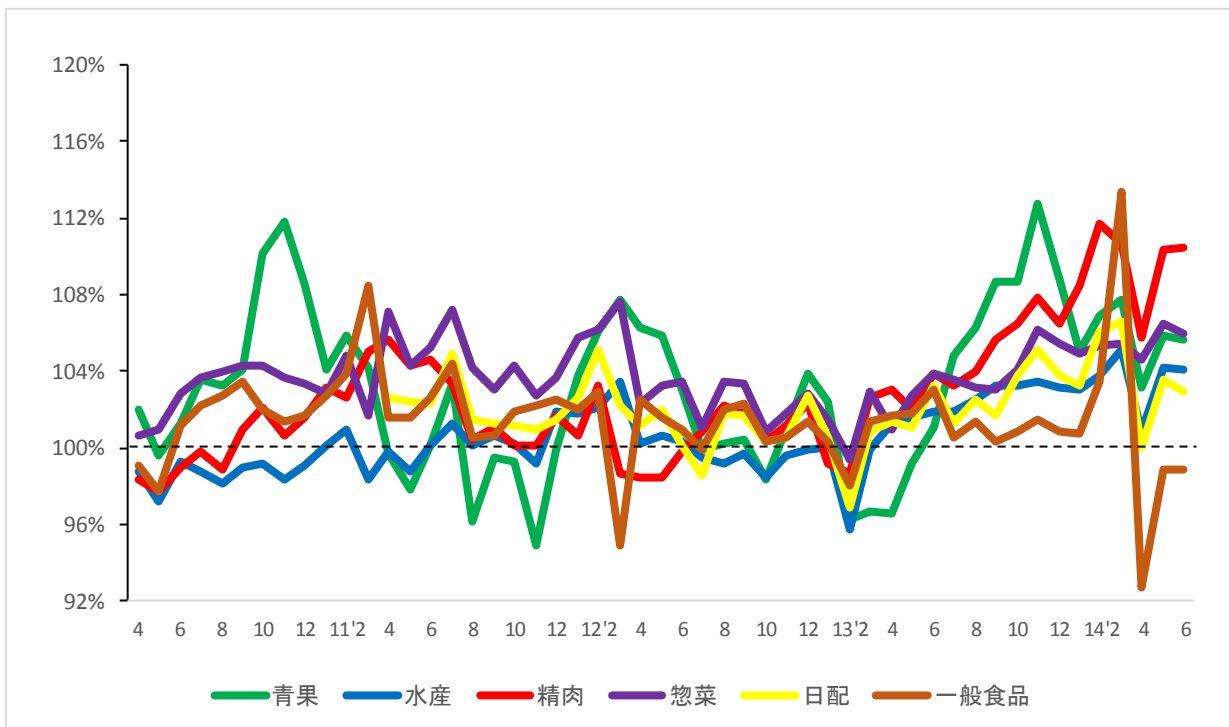
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年6月(全店ベース対前年同月比)  
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2014年5月までは確報版による前年同月比、2014年6月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年6月(全店ベース対前年同月比)  
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2014年5月までは確報版による前年同月比、2014年6月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

## エリア別 2014年6月気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

### ①平均気温

**2014年6月(平年との比較)**

上旬は東日本を中心にかなり気温が高く、中旬以降はほぼ平年並みであった

**前年同月(2013年6月)と比較**

上旬は東日本を中心に前年によりかなり気温が高く、中旬は全国的にかなり低い気温となった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2014年6月			2013年6月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	3.6	0.1	1.6	0.5	2.3	-0.4	3.1	-2.2	2.0
東北地方	3.0	1.1	1.2	0.3	2.3	0.4	2.7	-1.2	0.8
関東甲信地方	1.6	1.2	0.4	0.6	1.9	-0.3	1.0	-0.7	0.7
北陸地方	3.3	0.5	0.6	0.6	2.9	0.6	2.7	-2.4	0.0
東海地方	1.5	0.7	0.3	0.4	2.3	-0.7	1.1	-1.6	1.0
近畿地方	1.8	0.1	0.1	0.7	2.7	-0.7	1.1	-2.6	0.8
中国地方	1.5	-0.2	0.2	0.7	2.9	-0.1	0.8	-3.1	0.3
四国地方	0.7	-0.5	-0.7	-0.2	2.8	-1.4	0.9	-3.3	0.7
九州北部	0.5	-0.9	-1.1	0.0	2.7	-0.8	0.5	-3.6	-0.3
九州南部・奄美地方	0.1	-1.0	-1.9	-0.5	2.6	-0.9	0.6	-3.6	-1.0

#### 平年差

+2°C以上	-2°C以上
+1°C以上	-1°C以上

#### 前年差

+2°C以上	-2°C以上
+1°C以上	-1°C以上

### ②日照時間

**2014年6月(平年との比較)**

上旬は西日本でやや短く、下旬は全国的にやや長い日照時間となった

**前年同月(2013年6月)と比較**

上旬は前年に比べやや短い地方が多く、下旬は西日本を中心にやや長い日照時間となった

	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2014年6月			2013年6月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	135	21	144	149	78	106	-14	-57	38
東北地方	102	72	143	147	85	143	-45	-13	0
関東甲信地方	80	157	116	115	43	116	-35	114	0
北陸地方	106	102	185	134	106	185	-28	-4	0
東海地方	97	145	130	91	70	96	6	75	34
近畿地方	80	107	129	96	107	86	-16	0	43
中国地方	43	94	143	101	84	91	-58	10	52
四国地方	57	97	106	63	118	35	-6	-21	71
九州北部	44	76	110	64	72	39	-20	4	71
九州南部・奄美地方	80	70	57	44	164	35	36	-94	22

#### 平年差

平年比150%以上	平年比50%以下
平年比125%~149%	平年比51%~75%

#### 前年差

+50%以上	-50%以下
+25~49%	-25~-49%

### ③降水量

**2014年6月(平年との比較)**

上旬・中旬は平年よりかなり多い地域があり、下旬は全国的に少ない降水量となった

**前年同月(2013年6月)と比較**

上旬は全国的に前年よりかなり多く、中旬以降は東北・九州南部を除き少ない降水量となった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2014年6月			2013年6月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	57	335	20	6	125	53	51	210	-33
東北地方	129	183	67	9	90	23	120	93	44
関東甲信地方	415	95	94	21	150	87	394	-55	7
北陸地方	20	143	48	3	252	51	17	-109	-3
東海地方	149	25	36	10	136	79	139	-111	-43
近畿地方	59	26	38	2	210	90	57	-184	-52
中国地方	128	77	21	20	287	71	108	-210	-50
四国地方	209	53	67	47	224	112	162	-171	-45
九州北部	57	61	57	107	109	85	-50	-48	-28
九州南部・奄美地方	174	80	228	155	20	189	19	60	39

#### 平年差

平年比150%以上	平年比50%以下
平年比125%~149%	平年比51%~75%

#### 前年差

+50%以上	-50%以下
+25~49%	-25~-49%

気象庁ホームページより引用

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均  
スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

## 2014年7月調査結果(6月実績)

### (7月22日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

#### 【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

#### 【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

# I. 調査結果概況

## 前月に続き現状判断に改善傾向続くも、見通し判断は横ばい推移

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は49.1と前月から+1.9と引き続き改善が続いた。前月同様、現状、見通し判断共に全てのDIが前月比プラスとなっており、特に消費者購買意欲DI（現状判断）は、+3.3改善幅が大きかった。一方で見通し判断はすべて小幅な改善にとどまっており、やや現状判断との差が広がる結果であった。

経営動向調査では売上高DIが-1.4（前月比-1.9）とわずかにマイナスとなったものの、同様に収益DIは3.1（前月比-2.4）とプラスを維持している。これは、販売価格DIが10.1とプラス圏で安定して推移し、客単価DIも9.4となっていることが起因している。一方やや心配なのが来客数DIの動向であり、-11.2（前月比-3.5）と回復の兆しが見えていない。生鮮仕入原価DIや食品仕入原価DIにはやや落ち着きがみられるようになってきた。

現状判断の回復傾向が続き、再び50に迫る付近までの上昇をみせている一方で、見通し判断はほぼ横ばいで40台半ばの推移であり先行きに楽観できない状況である。

### 景況感調査



### 経営動向調査

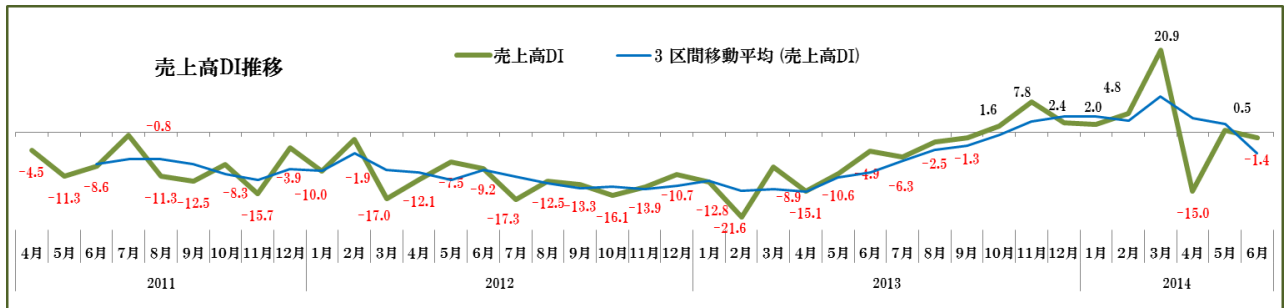
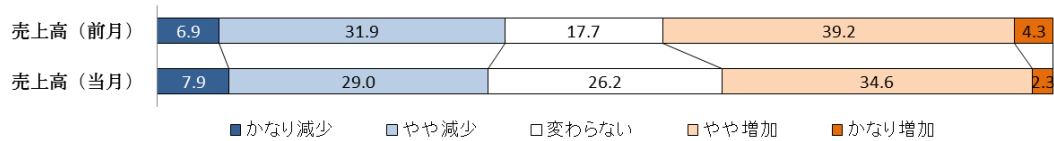


( ) 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

# I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

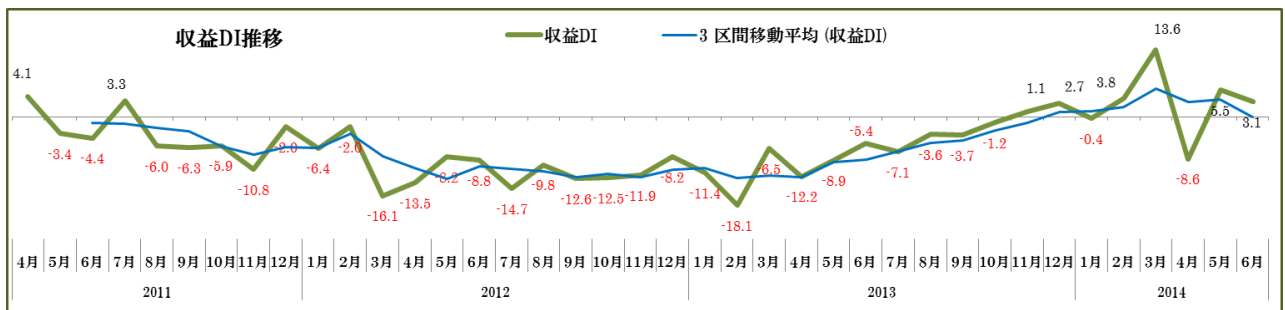
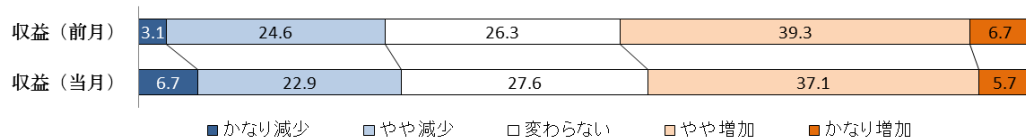
## ①売上高 DI

消費税の影響は落ち着きを見せるもわずかに下落



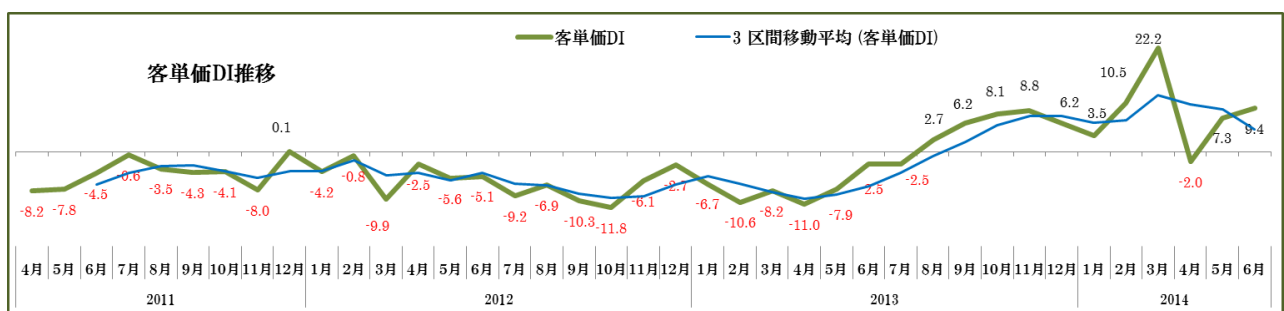
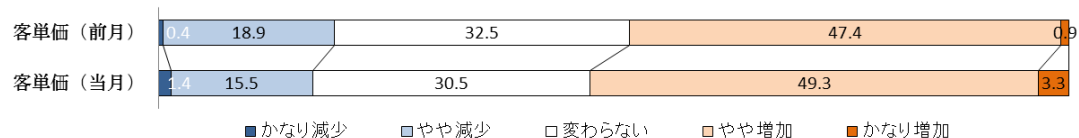
## ②収益 DI

小幅に下落もプラスを維持



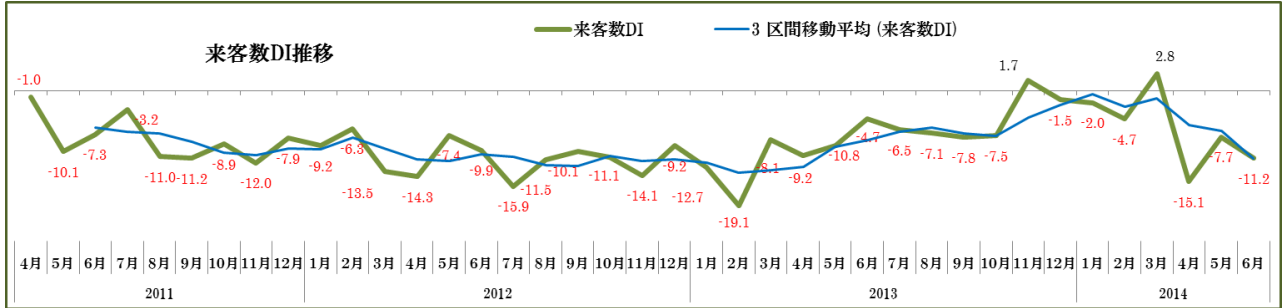
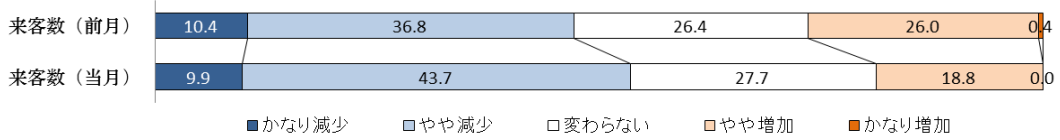
## ③客単価 DI

小幅に上昇しプラスを維持し回復基調



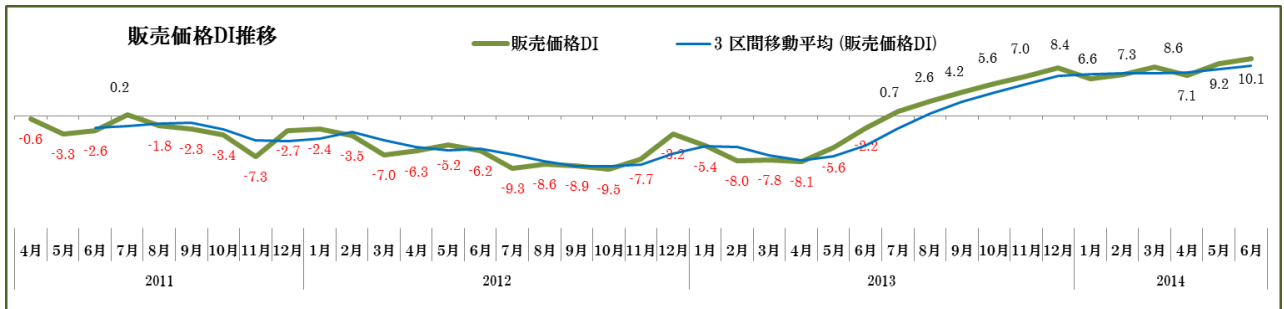
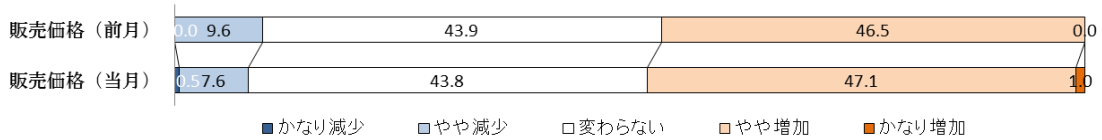
#### ④来客数 DI

回復の勢いは弱く、再び下降傾向



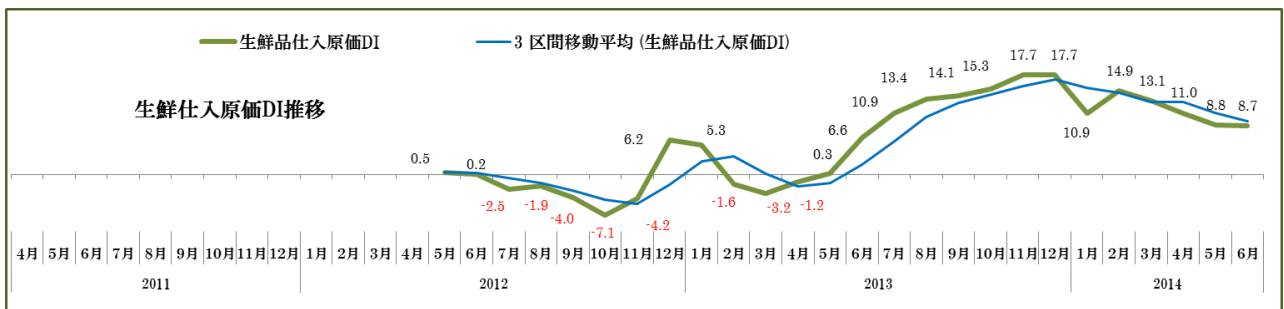
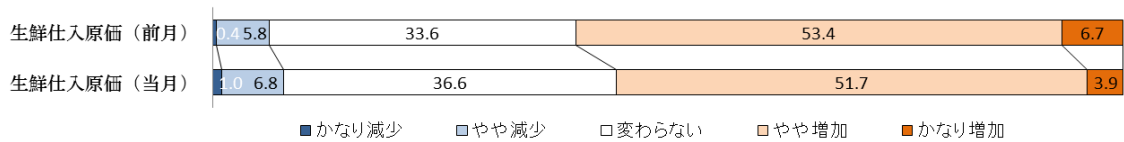
#### ⑤販売価格 DI

引き続きプラス圏を維持しており、高水準で横ばい傾向



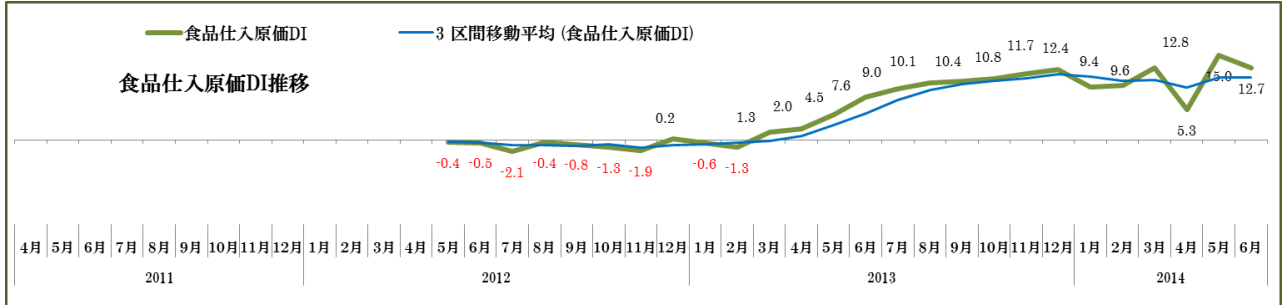
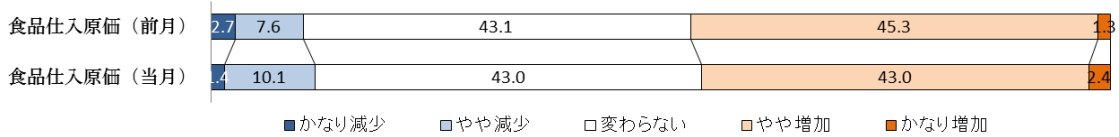
#### ⑥生鮮仕入原価 DI

12月をピークにゆるやかに下降傾向



## ⑦食品仕入原価 DI

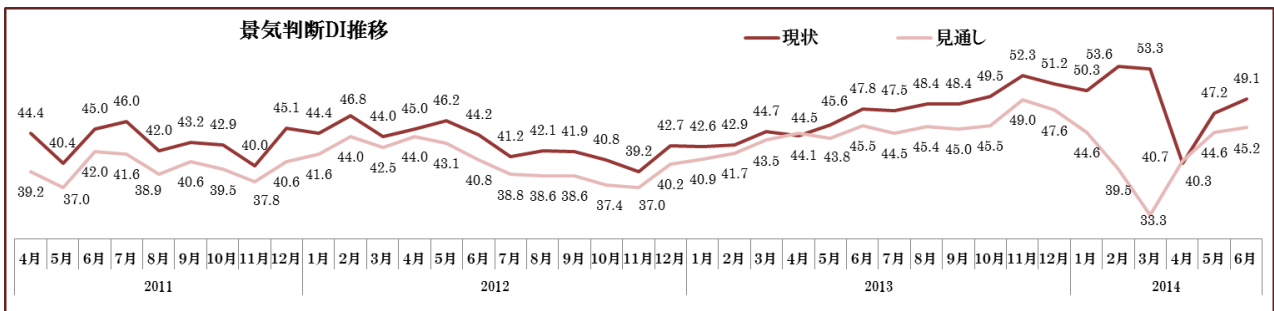
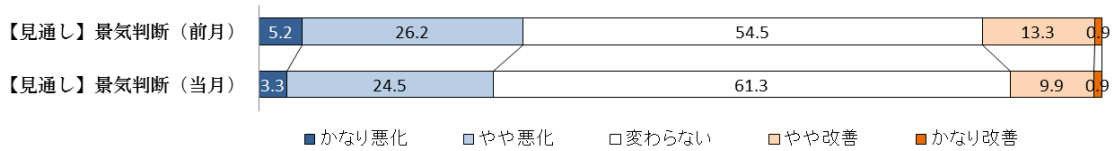
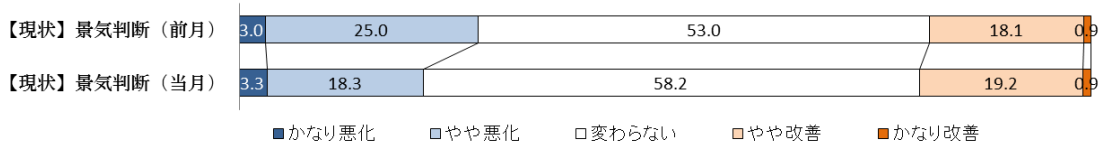
高水準で横ばい推移



## 2. 景況感調査

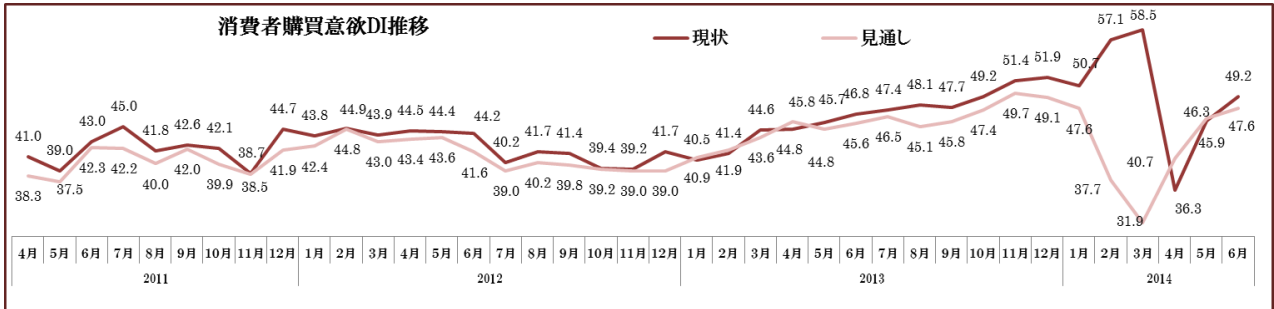
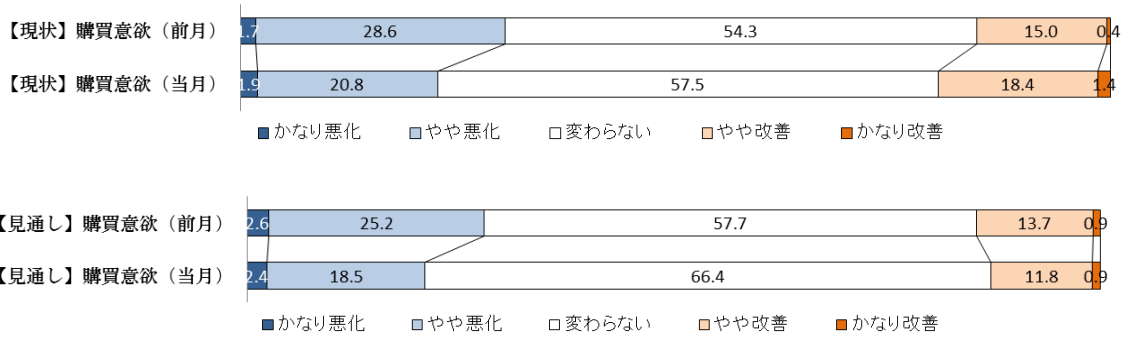
### ①景気判断 DI

現状判断は改善続く、見通し判断は小幅な改善



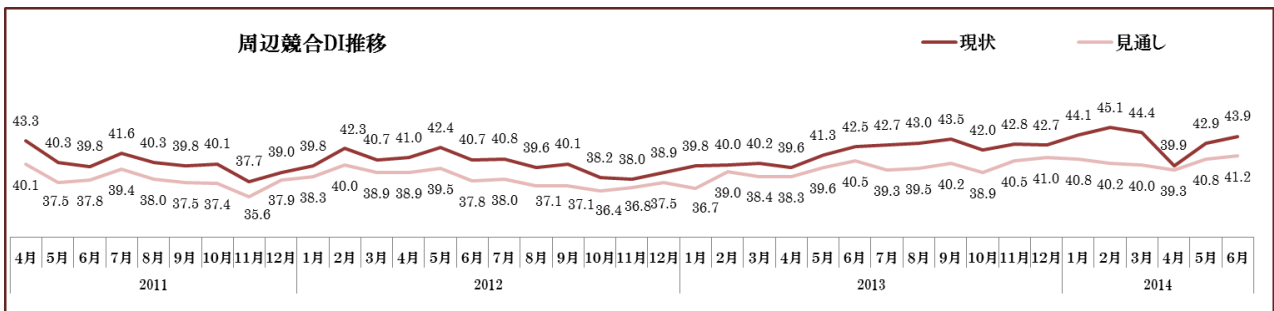
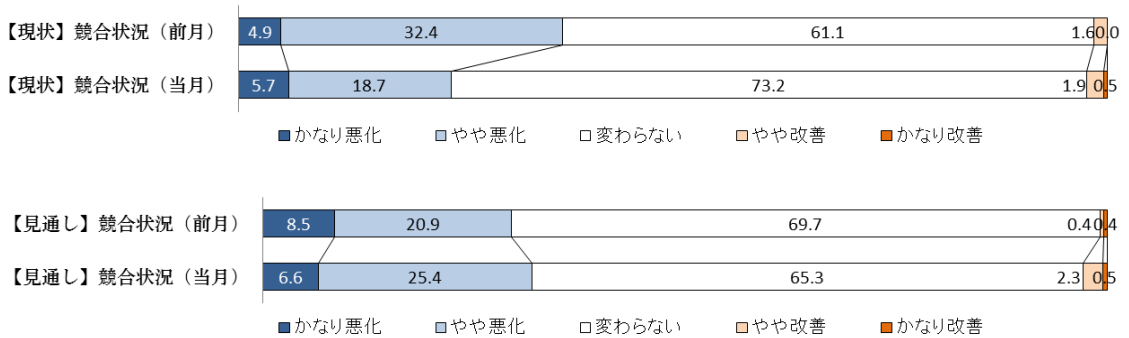
## ②消費者購買意欲 DI

現状判断は改善続く、見通し判断は小幅な改善



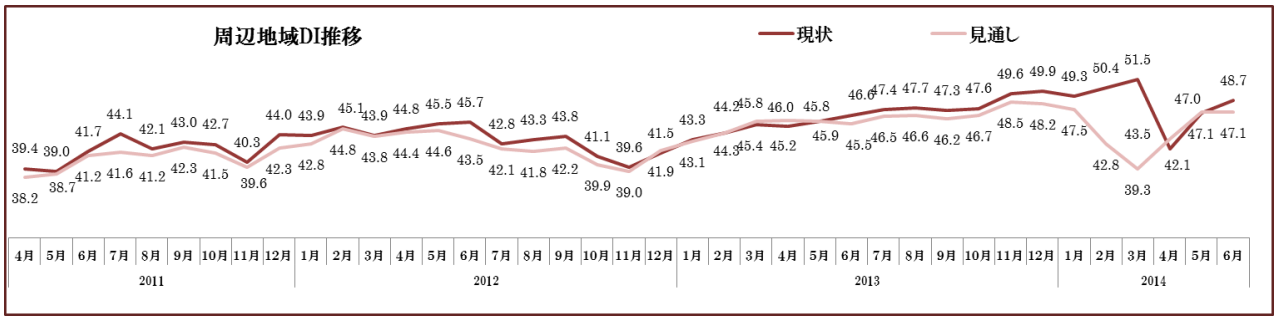
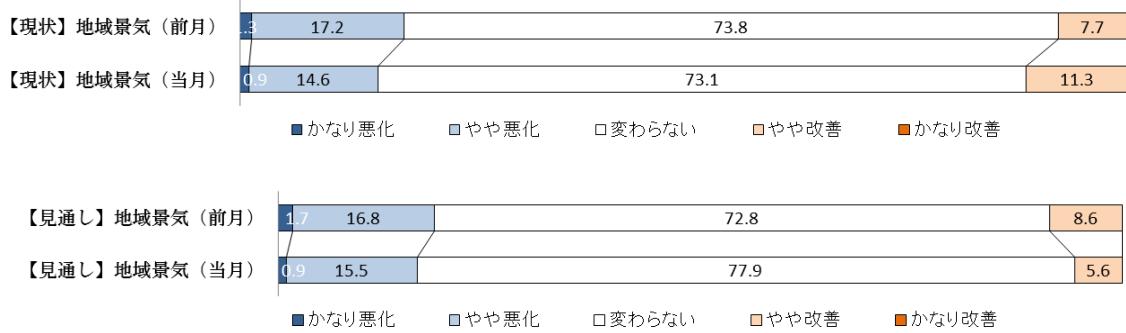
## ③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



#### ④周辺地域景気判断 DI

現状判断は改善続く、見通し判断は横ばい

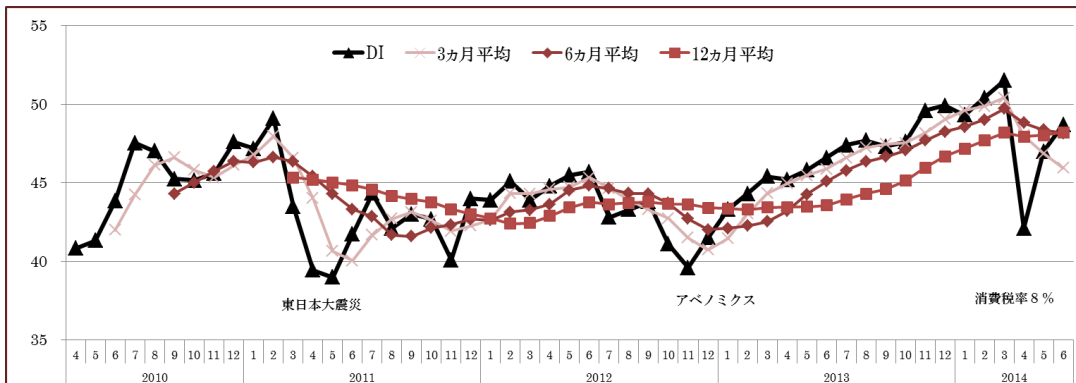


#### 長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

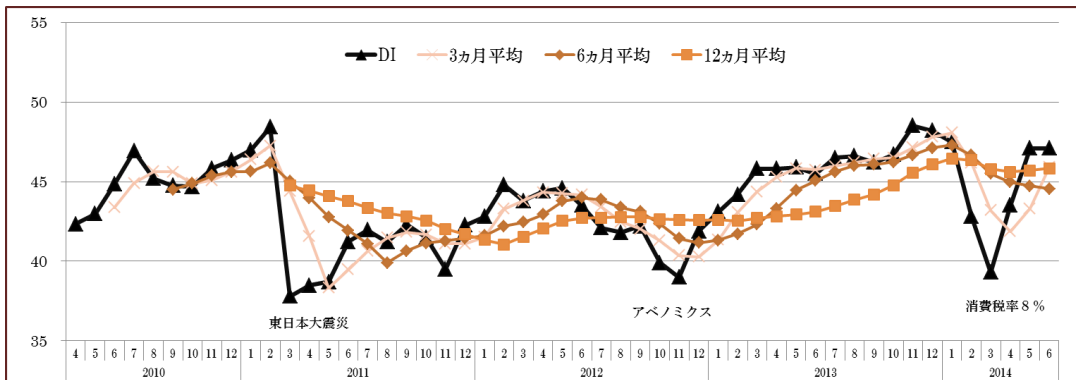
消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した現状判断は、前月から改善が続き、中長期移動線付近まで回復をみせている。一方で見通し判断は、再び中長期線を上回る水準で横ばい推移となった。

現状、見通し判断ともに長期傾向（12か月平均）はやや上向きでの推移となっているが、現状判断に比べ見通し判断の回復に勢いは弱い状況にある。

#### 現状判断（中長期傾向）



#### 見通し判断（中長期傾向）



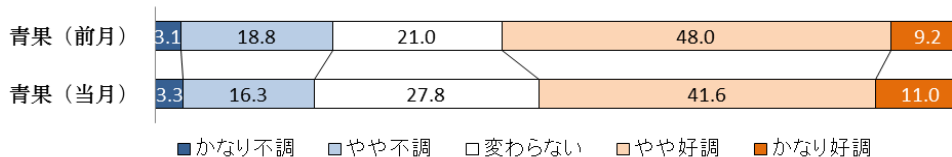
### III. カテゴリー別動向

#### カテゴリー動向概要

前月とほぼカテゴリー動向は変わらず、生鮮品と惣菜が好調、一方で一般食品と非食品を中心としたカテゴリーは不調という傾向となった。

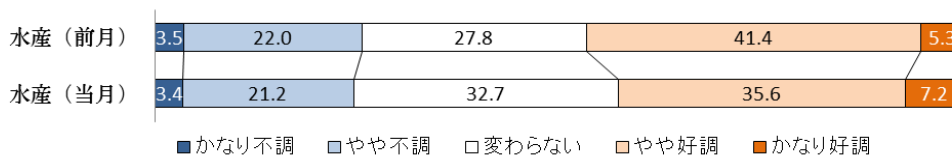
好調な生鮮品のなかでも、特に畜産は相場高にも支えられ引き続きかなり好調であった。青果と水産も好調、やや好調となっている。惣菜についても各社で取組みを強化しておりその成果により好調であった。日配は気温や天候要因も影響しやや不調である。一般食品は一部商品では駆け込みからの回復もみられるが、引き続き米や調味料が低迷した。非食品はたばこを中心として駆け込みの反動が残り、また他業態との競合も厳しく不調となった

#### 【青果】好調 DI:10.2 (前月 10.4)



	好調コメント	不調コメント
青果	相場高、カット野菜、果物	果物、買い上げ点数の減少

#### 【水産】やや好調 DI:5.5 (前月 5.7)



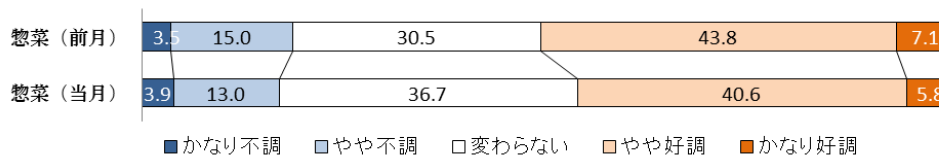
	好調コメント	不調コメント
水産	刺身類(まぐろ)、塩干、単価上昇	塩干、相場高、不漁、

#### 【畜産】かなり好調 DI:25.0 (前月 22.1)



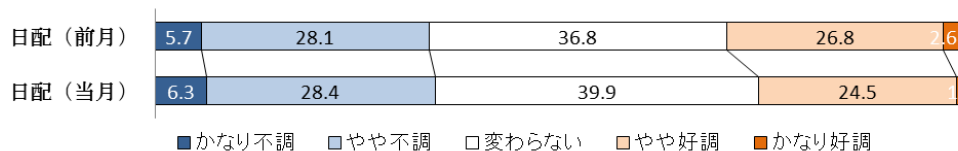
	好調コメント	不調コメント
畜産	牛・豚相場高、牛(和牛)、豚、鶏、焼肉	

#### 【惣菜】やや好調 DI:7.9 (前月 9.0)



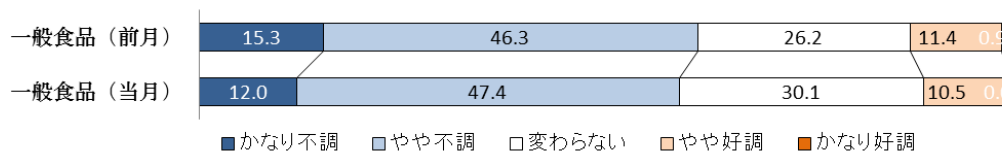
	好調コメント	不調コメント
惣菜	取組み強化(新規提案)	競合(他業態)

【日配】 やや不調 DI:-3.5 (前月-1.9)



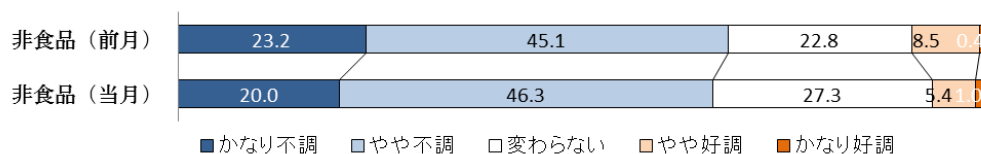
	好調コメント	不調コメント
日配	洋日配、季節商材(好天)、(たまご)、(冷凍食品)	価格競争、乳製品、納豆、アイス(気温低下)、パン

【一般食品】 不調 DI:-15.2 (前月-15.9)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	菓子、嗜好品	米、調味料、価格競争、反動から回復遅

【非食品】 不調 DI:-19.8 (前月-20.5)



	好調コメント	不調コメント
非食品		他業態との競合、反動から回復遅、たばこ

( ) は少数コメント

DI による好不調判断

かなり好調: 20 以上 好調: 10~20 やや好調: 0~10  
 かなり不調: -20 以下 不調: -20~-10 やや不調: -10~0

2014年6月キーワード TOP 3

1. 消費増税の影響(判断分かれる)
2. 生鮮品好調
3. 競合環境激化

スーパーマーケット景気動向調査

6月速報版集計 214社  
 5月確報版集計 233社